

# 中央中学校 Google form 活用マニュアル

## 【アンケート作成送信～回答確認編】

### STEP1：アンケートを作成する

#### ①新しいフォームを作成する

Google Chrome を起動して画面右上の「9つの■」をクリックし、「Forms」を選択。画面が切り替わったら「空白」をクリック。



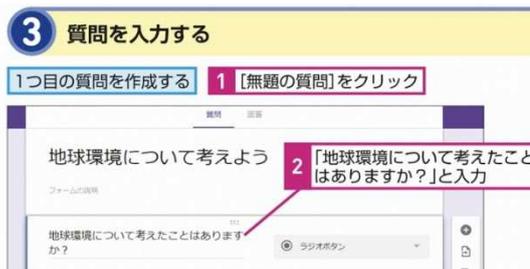
#### ②タイトルを入力する

新しいフォームが作成されたら、「無題フォーム」をクリックしてフォームのタイトルを変更する。（ここでは「地球環境について考えよう」）



#### ③質問を入力する

タイトルを入力したら、1つ目の質問を作成する。「無題の質問」をクリックし質問内容を入力。（ここでは「地球環境について考えたことはありますか？」）



#### ④選択肢を作成する

質問に対する回答の選択肢を作成。（ここでは「はい / いいえ」を作成）まずは「オプション 1」をクリックして「はい」と入力。すると次の回答候補として「いいえ」が表示されるので、「いいえ」をクリック。これで、質問に対する回答を「はい」か「いいえ」のどちらかから選択する質問の完成。



回答形式は複数あり、質問に応じて回答形式を使い分ける。

### ■選択式

- ・チェックボックス（複数回答可）
- ・ラジオボタン・プルダウン（1つの回答のみ）

### ■記述式

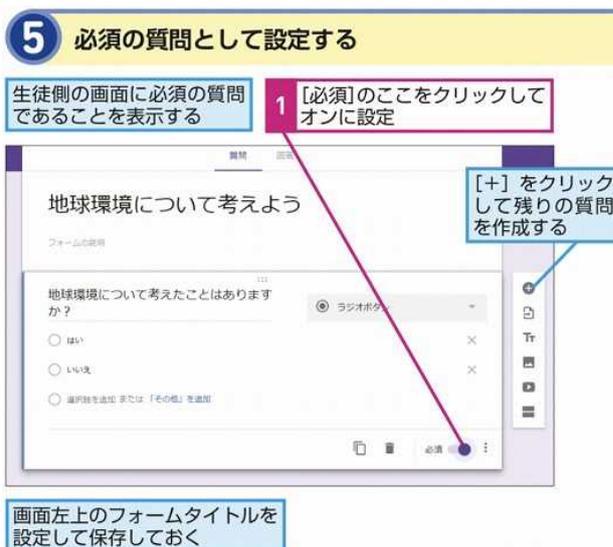
- ・記述式（短文回答）
- ・段落（長文回答）

## ⑤必須の質問として設定する

作成した質問を回答必須にしたい場合は、質問内容の右下にある「必須」をオンにする。すると、生徒側の画面には必須の質問であることが表示される。（※質問ごとに設定可能）

さらに質問を増やしていきたい場合は、右側にある「+」をクリックすることで質問を追加することができるので、③～⑤を繰り返す。

アンケートが完成したら、フォーム画面左上にあるフォームタイトルを設定しておく。このタイトル名は Google ドライブに保存される際のタイトル名となる。（※フォームタイトルにカーソルをあわせると、②で入力したタイトルが自動的に反映される。必要があれば修正する。）



## STEP2：アンケートを送信する

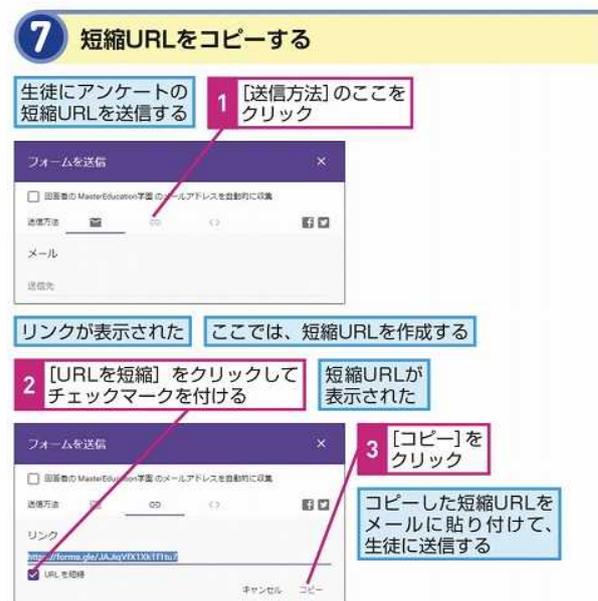
### ⑥「フォーム送信」の画面を表示する

フォーム画面右上の「送信」をクリックし送信画面を表示させる。



### ⑦短縮 URL をコピーする

送信画面が表示されたら、「送信方法」の中の「リンクマーク🔗」をクリックすると、URL が表示される。その後「URL を短縮」にチェックマークをつけ、短縮された URL が表示されたら、「コピー」をクリック。この短縮 URL を Google Classroom やビデオ会議中のチャットに貼り付けて生徒へ展開するだけで完了。生徒はリンクをクリックすると、フォーム画面が表示され、回答することができる。



### STEP3 : 回答結果を確認する

生徒がアンケートに回答すると、自動的に集計され確認することができる。

#### ①「回答」の画面を表示する

回答を確認したいフォームの画面（STEP1 の⑤のアンケート作成画面）を表示し、質問の横にある「回答」タブをクリック。

#### ②回答結果が表示された

回答が選択式の場合、回答結果はグラフで表示される。

回答ページには「概要」「質問」「個別」の3種類。

「概要」は、アンケート全体の結果概要

「質問」は、質問ごとの回答内容

「個別」は、生徒ごとの回答内容

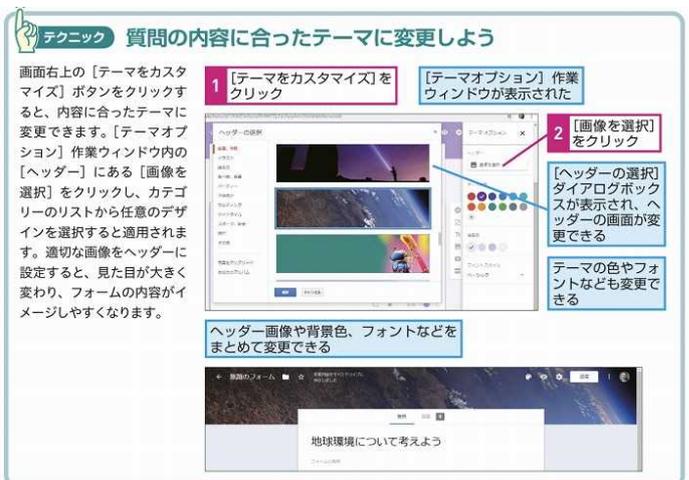
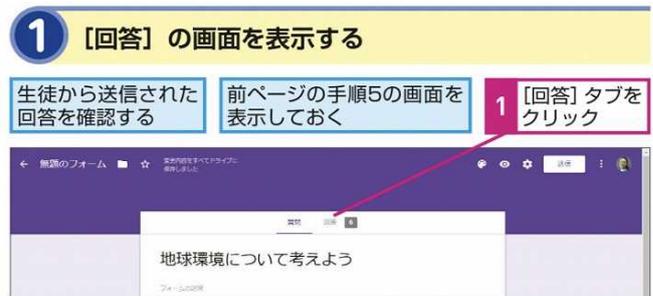
それぞれ確認したい内容でタブを切り替える。また、右上にある「回答を受付中」をオフにすると、アンケートを締め切ることができる。

### ワンポイントテクニック：テーマを変更する

フォームのテーマをカスタマイズすることで、アンケートやテストの内容に合ったフォームを作成することができる。フォーム画面右上の「テーマをカスタマイズ」ボタンをクリックし、ヘッダー部分の色や画像を変更したり、フォントも変更することができる。

### フォームを使えばペーパーレスで校務の時間短縮になる

フォームは生徒の学びと先生の校務効率化に役立つツール。授業中にフォームで生徒の意見を集め、即座に可視化して示せば、生徒の気づきや対話を促すことができる。これにより、生徒の考えやアイデアを深めることに繋がる。また、フォームの配信は URL での共有以外にも、メールでの送信や Web サイトへの埋め込みも可能なため、保護者へのアンケートも簡単に行える。そして大前提として、プリントを印刷して、配布、回収、集計といった手順をペーパーレスで簡略化できるため、校務の時間短縮にも繋がる。フォームは Google Classroom との連携も簡単にできる。



## 【テスト作成～自動採点～解答確認】

### STEP1： テストを作成して送信する

#### ①「設定」の画面を表示する

新しいフォームを作成し、新しいフォームの画面になったら、画面右上にある歯車マーク「設定」をクリック。

#### ②設定画面にて各種設定を行う

「設定」画面が表示されたら「テスト」タブをクリック。さまざまな「テストオプション」が表示されているのを確認し、必要に応じて変更する。（※今回はデフォルトの設定のままで作成する）

**自動採点は事前に答えが限定されている設問に限られる。**自動採点にする場合、上記画像真ん中にある「成績の表示」は「送信直後」のままでよい。

しかし、生徒自身の考えを自由に記述してもらう設問にする場合は、先生が個別に解答を確認し、手動で採点する必要がある。そのため、「成績の表示」は「確認後に手動で表示する」にチェックをする。

（※デフォルト設定は「送信直後」）

#### ③タイトルと問題を入力する

「無題フォーム」に「確認テスト」とタイトルを入力。その後、「無題の質問」に問題文を入力。問題文を入力し終わったら、右側にある「ラジオボタン」をクリック。

#### ④解答欄を変更する

③で「ラジオボタン」をクリックしたら、解答方法の一覧が表示される。今回は「記述式」をクリック。

**1** [設定]の画面を表示する

レッスン①を参考に、新しいフォームを作成しておく

**1** [設定]をクリック

[設定]の画面が表示された

**1** [テスト]タブをクリック

[テストオプション]の画面が表示された

ここでは特に変更せずにテストを作成する

生徒のテスト中にchromebooksでの操作を制限する場合は、ここをクリックしてチェックマークを付ける

自由採点にする場合は、[確認後に手動で表示する]をクリックする

自動採点時に、生徒が画面で確認できる項目を設定する

**2** [保存]をクリック

**3** タイトルと問題を入力する

1つ目のテストを作成する

**1** [無題のフォーム]に「確認テスト」と入力

**2** [無題の質問]に問題文を入力

**3** [ラジオボタン]をクリック

**4** 解答欄を変更する

入力欄の書式一覧が表示された

ここでは、記述式の解答欄を作成する

**1** [記述式]をクリック

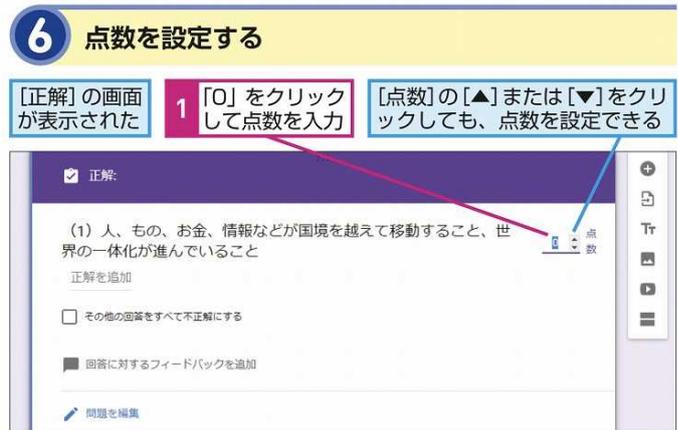
⑤ 「正解」の画面を表示する

記述式の解答欄に変更されたら、「解答集を作成」をクリックし、「正解」の画面を表示する。



⑥ 点数を設定する

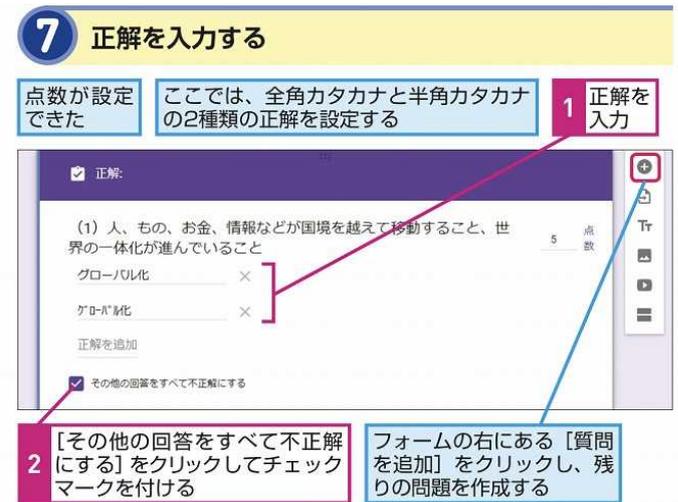
「正解」画面が表示されたら画面右側にある「点数」の「0」をクリックして設問に対する点数を入力する。(※▲と▼でも点数を設定できる)



⑦ 正解を入力する

点数が設定できたら、問題文の下に表示されている「正解を追加」をクリックして正解を入力する。

ここでのポイントは、カタカナを含む解答の場合は全角と半角の両方の正解を入力すること。そうすることで、生徒がどちらで解答しても正解として自動採点してくれる。(他にも数字やアルファベットなどを含む解答も、複数考えられるため全て入力する) 正解を入力したら、「その他の回答をすべて不正解にする」にチェックを付ける。これで一つの設問が完成。更に追加していく場合は右側にある「+」をクリックし、③～⑦を繰り返す。



STEP2： 回答画面を確認する

生徒がテストを終え、解答を送信すると、先生の画面では解答を一覧で確認できる。(※生徒には自身の結果だけが表示される)

① 「回答」の画面を表示する

質問画面の横の「回答」タブを押すと、回答画面が表示される。

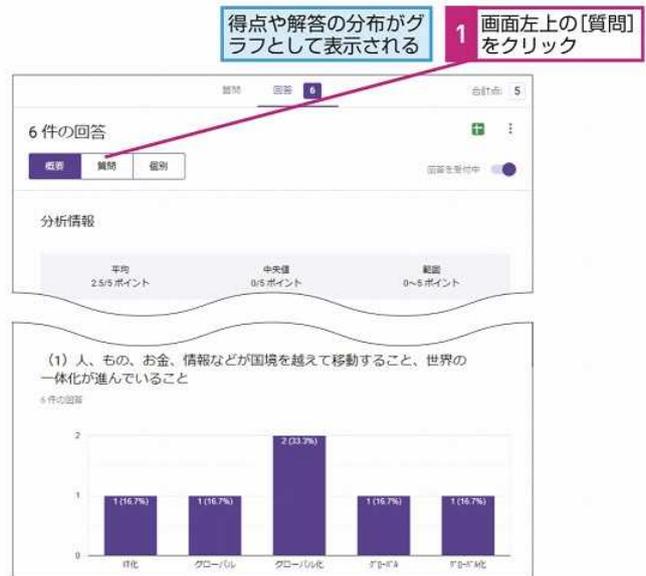


②「概要」の画面が表示された

回答ページには「概要」「質問」「個別」の3種類がある。

「概要」は、クラス全体の平均点や、間違いが多かった設問などの分析結果が表示される。

「質問」は、設問ごとに各生徒の解答内容を一元管理でき、手動で採点する設問がある場合に便利。「個別」は、生徒ごとにテストの解答を確認できる。ここでは「質問」をクリック。



③問題ごとの解答結果が表示された

「質問」画面で、設問ごとに各生徒の解答内容を確認する。画像右側にある「回答を受付中」をオフにするとテストの解答を締め切ることができる。

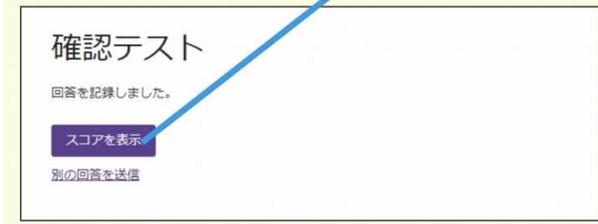
右上の「回答を受付中」をクリックしてオフにすると、テストの解答が締め切られる



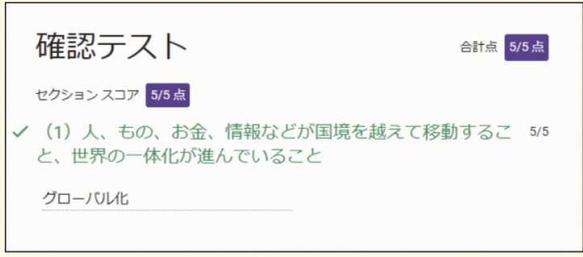
自動採点の場合、生徒は解答後にすぐに点数を確認できる。確認方法は、解答を終えると表示される「スコアを表示」をクリックする。

問題に解答した後、[スコアを表示]をクリックする

すると採点結果と、設問ごとの正解・不正解の結果が表示されます。



正解すると、チェックマークと合計点が表示される



もし、不正解の場合は正しい解答も表示される。

不正解の場合は、×と正解、  
合計点が表示される

The screenshot shows a Google Form titled "確認テスト" (Confirmation Test) with a total score of 0/5 points. Below the title, it says "セクションスコア 0/5 点". The question is marked with a red 'X' and reads: "(1) 人、もの、お金、情報などが国境を越えて移動すること、世界の一体化が進んでいること" (0/5). The user's answer is "IT化" (ITization). The correct answer is listed as "グローバル化" (Globalization).

フォームのテストを使えば授業の理解度確認が簡単になる

以上が、Google フォームでのテスト作成や自動採点、解答確認方法である。

フォームでのテストは印刷も不要なため、授業初めの復習テストや授業終了時の理解度テストなどを簡単に行うことができる。

そうすることで、生徒一人ひとりの理解度を把握できるだけでなく、クラス全体の傾向が分かることで、授業内容を検討する材料にもなる。